

丸徳グループ

車両分科会

だ

よ

り

Vol.18

丸徳グループ各社従業員の皆様
毎日の業務、ご苦労様です。

今月の記載内容は・・・

- ・ 夏に多発する夏型事故とは？
※漫然運転に注意!!
- ・ 車両盗難の手口と対策！
- ・ 愛知県警からのリーフレット8月

夏の暑さが奪う、ドライバーの集中力

7、8月に多発する夏型事故とは？

気温が高く、暑さが厳しくなる時期に多発することから、夏型事故と呼ぶようになりました。



暑さを原因とした「夏型事故」

夏の運転はこまめな休憩や水分補給を。特に疲れがちな帰路の休憩をしっかり確保。

日中の強い日差しと暑さは、じっとしていても体力を奪います。

夏の午後は、居眠りや漫然運転に注意

[事故事例]



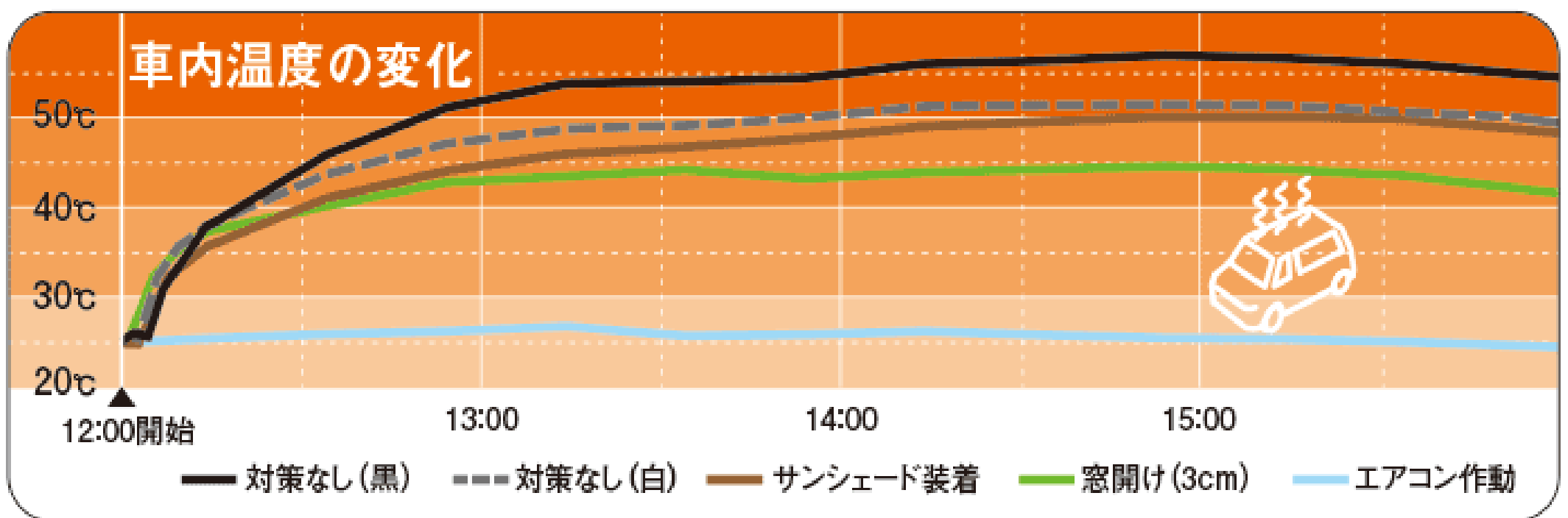
早朝に自宅を出発し、ゴルフ場でプレーを楽しんだという男性は、事故現場の手前を走っているときから、何度かぼんやりとして、緊張感を欠いた運転をしているなと思っていたそうです。カーブが続く山道を走行している間は残っていた緊張感が、直線区間に入ってなくなってしまったのか、気が付いたら目の前に向かってくるバイクがいたと話していましたが、居眠り運転をしていたことは間違いのないと思われます。今回の居眠り運転事故は、7、8月になると増える『夏型事故』の典型だと言えます。

暑い日は集中力が落ちるので注意しよう

暑い日に車を運転していると、クーラーを利かせていても窓から入る直射日射などで頭がボンヤリし集中力が落ち事故などが起きやすい傾向が出ています。

サンシェード装着や窓開けなどの対策で、車内温度の上昇は防げる？

温度計測器を用いて、車両の車内温度の変化を測定した。



	車内最高温度	車内平均温度	ダッシュボード最高温度
対策なし(黒)	57°C	51°C	79°C
対策なし(白)	52°C	47°C	74°C
サンシェード装着	50°C	45°C	52°C
窓開け(3cm)	45°C	42°C	75°C
エアコン作動	27°C	26°C	61°C

サンシェード対策や窓開け対策をしていても温度抑制効果は低く、人が耐えられない温度となり、車内温度の上昇を防ぐことはできない。

車両盗難の手口と対策

・近年発生している車両盗難の手口

-CANインベーター



最近のクルマは電子制御化が進み、車内の隅々までCAN(コンドローラー・エリア・ネットワーク)が張り巡らされている。このCAN配線に機器をつなぎ、クルマの制御を乗っ取ってしまう。

-リレーアタック



スマートキーから常時発信されている微弱電波を特殊な機器で傍受、さらに増幅・中継しながら、車両の解錠やエンジンを始動させる手口。

-コードグラバー



キーレス機能を使用した瞬間を狙い、スマートキーのIDコードを盗み取る手口。ドアの開閉はできてもエンジンの始動はできないので、車上狙いで悪用されるケースが多い。

車両盗難の手口と対策

・車両盗難の対策

- 窃盗しづらい環境を作る



照明やセンサーライトによって、車両付近を照らし、人影を周囲から見やすくする。また、防犯カメラを設置することで抑止するのも効果的です。

- 物理的な対策



ハンドルロックやタイヤロックなど、物理的に動かさなくできる対策は盗難抑止効果も高い対策です。スマートキーを、電波を遮断するポーチや缶などにしまうのも効果的です。

・もしも車両盗難にあったら

防犯対策を強化し、セキュリティグッズを揃えることは、車両盗難や車上狙いのリスクを低減させることは間違いありません。

しかし、100%守れる確証がないのも事実です。

もし被害にあってしまったら、**速やかに110番通報**してください。また、任意保険の契約内容によっては補償されるケースもありますので、任意保険の面からも備えておきましょう。

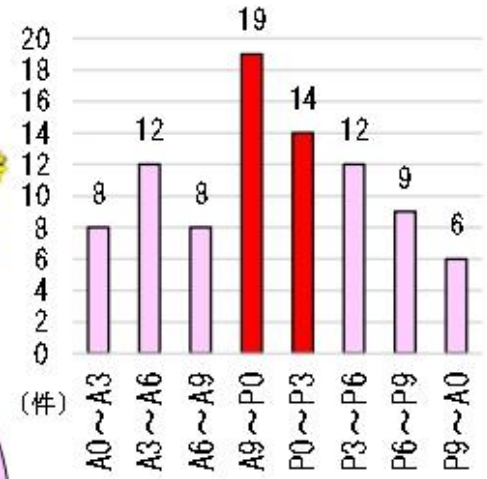
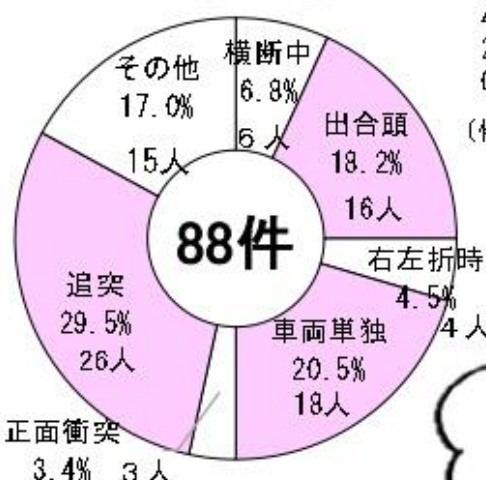
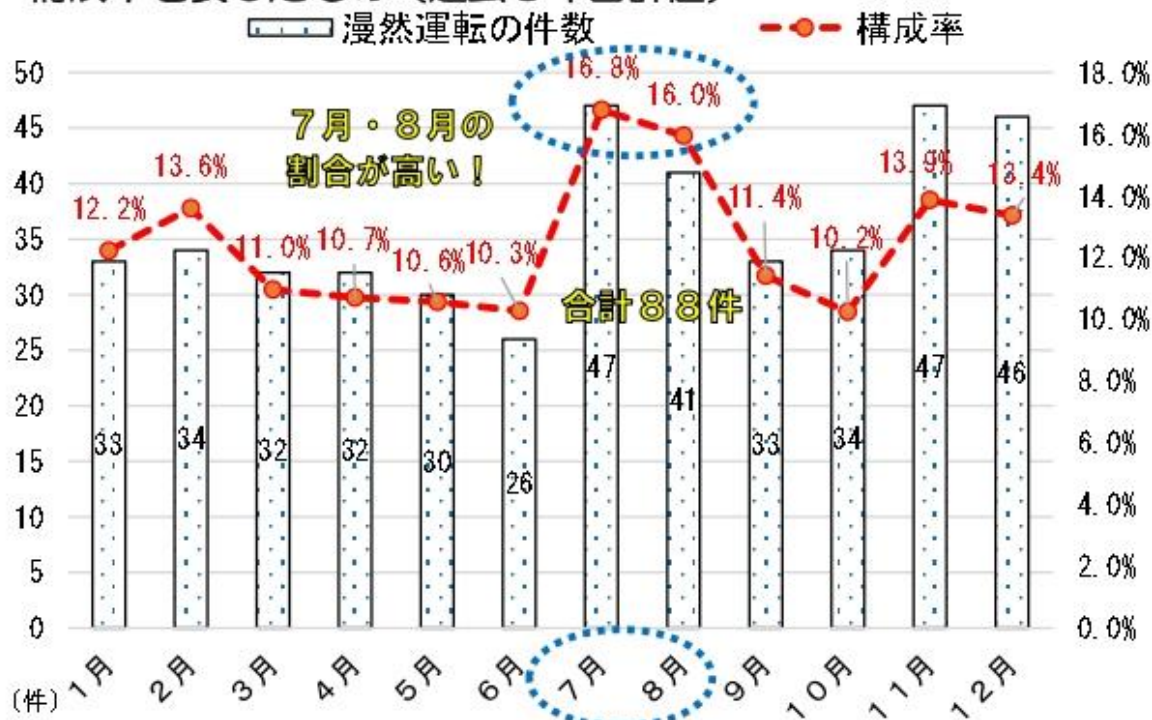
交通事故防止のPOINT



今年は猛暑が予想されています！暑さで漫然運転をしないよう気を引き締めて！

《月別 漫然運転（ぼんやり運転）の発生状況》

※一般原付以上の第一当事者（死亡・重傷事故）のうち、事故の人的要因が考え事などの漫然運転（内在的前方不注意）の件数と構成率を表したもの（過去5年合計値）



【7月・8月時間帯別】

【7月・8月事故類型別】



漫然運転は重大事故につながります！

危険！

暑い～…

ぼんやり

漫然運転

- 数秒「ほ～っ」とするだけで…
- 信号無視のおそれ
 - 標識などを見落とすおそれ
 - スピード違反のおそれ
 - 歩行者などの発見が遅れるおそれ

交通事故の危険性！

【人や車両が1秒間に進む距離】

歩行者	約4.3km/h	→	1.2m
自転車	約17km/h	→	4.7m
スクーター	約30km/h	→	8.3m
乗用車	約40km/h	→	11.1m
トラック	約60km/h	→	16.7m

こんなに進みます！

- 十分な睡眠
- 体調管理
- こまめな休憩
- エアコンなどで車内環境を快適に
- 気持ちにゆとりをもった運転



気温が高い中で外出するだけでも体力を消耗します。特に夏バテや寝苦しい環境での睡眠不足もあり、ぼんやりと考え事をしながら運転をすることで交通事故が発生するおそれがあります。体調管理に努め、運転に集中して交通事故を防ぎましょう。

※各表は、過去5年（R元～R5）に愛知県内で発生した交通事故等を分析した結果です。